✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

# ✧　2022年度フィリピン国別研修「気象観測測器校正」の報告

標記の研修が、国際協力機構（JICA）のフィリピン国「高品質な気象観測・予報・警報情報能力強化プロジェクト」の一環として、以下の「研修の概要」のとおり2022月11月17日(木）から12月2日(金)に実施されました。

**研修の概要**

| | |
|---|---|
| 研修コース名 | 2022年度フィリピン国別研修「気象観測測器校正」 |
| 研修期間 | 全体受入期間：2022年11月17日～2022年12月2日<br>技術研修期間：2022年11月18日～2022年12月1日 |
| 研修到達目標 | 日本の気象庁・測器メーカーでの講義・見学を通じて、技術協力プロジェクトの成果１（地方管区（PRSD）において、地上気象観測システムの校正およびメンテナンスに係る職員の能力が向上する）の達成に必要とされる気象観測測器の校正・維持管理に関する技術・知識が習得される。 |
| 研修対象者 | フィリピン気象天文庁（Philippine Atmospheric, Geophysical and Astronomical Services Administration: PAGASA）に所属 するプロジェクトカウンターパート、7名。 |
| 主な研修項目 | 気象観測測器の校正・維持管理に関する技術・知識の習得に加えて、国家気象局職員として必要とされる気象業務全体に関する理解促進・知識習得を図る。 |
| 研修実施機関 | 気象庁（本庁、気象測器検定試験センター、高層気象台、仙台管区気象台)、光進電気工業株式会社仙台工場、東北大学災害科学国際研究所 |

具体的な研修内容は、以下の「研修日程」のとおりです。本プロジェクトの成果１では、「気象測器の校正・維持管理」と「データ品質のモニタリング」に焦点を当てた各種活動を実施しており、研修日程はこの２つに関する能力を強化する研修内容を中心に構成されています。点線で囲んだ「データ品質のモニタリング」に関する内容は気象庁本庁および東北大学災害科学国際研究所における研修に含まれており、太枠で囲んだ「気象測器の校正・維持管理」に関する内容は仙台管区気象台、光進電気工業株式会社仙台工場および気象測器検定試験センターにおける研修に含まれています。

**研修日程**

| 日付 | 研修内容 | 研修場所 |
|---|---|---|
| 11月18日（金） | 「ブリーフィング」、「コースオリエンテーション」 | JICA東京 |
| 11月21日（月） | 見学「JMA表敬訪問・本庁内見学」<br>講義「JMA気象観測業務」<br>発表「カントリーレポート・討議」 | 気象庁本庁 |
| 11月22日（火） | 講義「気象庁の国際取り組み（RWC)」<br>講義「品質管理業務（AQC、HQC、教訓)」<br>講義「統計業務（2020年平年値作成等) | 気象庁本庁 |
| 11月24日（木） | 見学「仙台管区気象台見学」 | 仙台管区気象台 |
| 11月25日（金） | 見学「光進電気工業株式会社仙台工場見学（実習含む)」 | 光進電気工業株式会社仙台工場 |
| | 見学「東北大学災害科学国際研究所見学（講演含む)<br>講演:”*Environment problem of meteorological observation*” | 東北大学災害科学国際研究所 |
| 11月28日（月） | 見学「RICつくば活動紹介と見学(ISO/IEC 17025 認定)」<br>実習「風洞による風速計校正」 | 気象測器検定試験センター |
| | 見学「高層気象台の活動紹介と見学」 | 高層気象台 |
| 11月29日（火） | 実習「気圧計校正」<br>実習「温度計校正」<br>講義「不確かさの講義①②」 | 気象測器検定試験センター |
| 11月30日（水） | 実習「雨量計校正」<br>実習「AWSメンテナンス①：予防点検、②：障害点検」 | 気象測器検定試験センター<br>高層気象台 |

| | | |
|---|---|---|
| | 見学「オゾンゾンデ飛揚見学」(当日、連結飛揚の比較観測見学に変更) | |
| 12 月 1 日（木） | 評価会・修了証書授与 | JICA 本部 |

以下の写真は、研修の実施状況です。12 月 1 日午後に JICA 本部で実施された評価会では、研修員から「Training is successful」とコメントがありました。JICA が行った研修アンケートでは、研修を評価する「本プログラムの目的と内容を明確に理解した」、「研修目的を達成した」、「得た知識と経験は仕事に十分に利用できる」、「講師のプレゼンテーションと説明は分かりやすかった」、「研修の構成は適切だった」等の設問に対して、研修員 7 人全員から「強く同意する」または「同意する」と回答をいただきました。

本研修は COVID-19 による体調不良者もなく、予定通り終了し、研修員は 12 月 2 日（金）に成田空港から帰国しました。最後に、分かりやすい研修資料と説明で本研修を準備・実施された気象庁（本庁、気象測器検定試験センター、高層気象台、仙台管区気象台）、光進電気工業株式会社仙台工場および東北大学災害科学国際研究所の講師・関係者の皆様に感謝致します。

**開会挨拶**
三上プロジェクトマネジャー、
気象庁本庁

**カントリーレポート**
Mr. ABDON Rex Jr.、気象庁本庁

**講義「気象庁の国際取り組み（RWC）」**
気象庁本庁

**見学「気象科学館」**
「うずのすけ」、気象庁本庁

**見学「仙台管区気象台」**

**見学「光進電気工業株式会社仙台工場」**

**実習「気圧計校正」**
気象測器検定試験センター

**実習「雨量計校正」**
気象測器検定試験センター

**修了証書授与**
JICA 本部

（国際事業部）